

「生殖医療サポーターの会 OKAYAMA」
第 12 回ミーティング 議事録

日時： 2008 年 4 月 17 日(木)

19 時～21 時 30 分

場所： 岡山大学鹿田キャンパス 管理棟 6 階 第 9 カンファレンスルーム

参加者： 7 名

江見弥生，小橋未和，杉山喜代美，名越由貴，中塚幹也，中原清美，藤原順子，

議事：

連絡事項

1. 岡山県不妊専門相談センターの開催日の増加.

開所日が ・毎週月・水・金曜日の午後 1 時～5 時、
毎月第 1 土・日曜日の 10 時～15 時、
第 3 木曜日の 10 時～15 時 になりました。

2. 出張相談室に関して

今年度も 4 回ほど計画しております。昨年度の結果を踏まえて、実施時期・地域・進め方などを計画していきます。相談窓口のみよりも講演会などを行った方が参加しやすい、との声もあり、今年度はミニ講演会も行う予定です。

3. 講演会に関して

今年度も夏に（恐らく 7 月）に相談室の講演会の開催を予定しております。開催場所や演者について、皆様のお考えを是非お聞かせ下さい。

協議事項（決定事項）

1. 生殖医療サポーターの会 OKAYAMA 定例ミーティングについて

会を継続していくに当たり、どの日時の方がより参加しやすいのか、と協議しました。やはり、19 時～では遅れる方が多いので、今後は開始時刻を 19 時 30 分に変更します。また、早めに来て話をすることもできるように、19 時から部屋は開放します。30 分遅くなった分、19 時半からはすぐに会を開始しますので、時間厳守でお願いします。（もちろん、今まで通り途中からの参加は大丈夫です。）

⇒毎月第 3 木曜日 19 時 30 分～

食べ物、飲み物に関しては、従来どおりだが、各自、持参も。

2. まとめの作成について

議事録を参照

3. 参加施設の共同研究

いくつかの提案がありましたので、今後、意見を集約して行いたいと思います。

研修プログラム

1. 各自からの話題提供

- ・「人の夢摘むなら根拠示して…」代理出産報告書に向井亜紀さん
産経新聞 2008年4月16日
- ・ Prevalence of and reasons for domestic violence among women from low socioeconomic communities of Karachi. (East Mediterr Health J. 2007 Nov-Dec;13(6):1417-26.)
- ・ 日本不妊カウンセリング学会主催のスキルアップセミナーへ参加。分娩取り扱い施設の方より、「不妊治療の現場では、安静にと言われていたのに、ここでは妊娠中毒症や体力維持のために動けと言われる。けれど『じゃあ、この子にもしもの事があつたら責任とってくれるんですか?』』という方がいて困っている。」という発言があつた。このような事は実際に我々の現場でも起こっており、やはり不妊治療施設と産科施設でもっと連携をとる（継続看護の）必要を感じた。そのため、産科施設側と患者側にアンケート調査を行いたい、と考えている。
- ・ 独身の20代女性 不妊が心配 日経新聞 4月10日 夕刊
- ・ コエンザイム Q10 の摂取が卵巣機能を高める可能性

2. 生殖医療サポーターの会 OKAYAMA 2008年度計画立案

別紙をご参照下さい。

当番班 不妊・不育ところの相談室 江見弥生
中塚幹也

次回の会の予定

2008年5月15日（木）19時30分～

当番班 不妊・不育ところの相談室

生殖医療サポーターの会 OKAYAMA
事務局 中塚幹也